

日本国憲法(抄)

第十四条すべての国民は、法の下に平等であつて、人権信条、性別、社会的身分又は、門地により、政治的又は、社会的関係において差別されない

こやま地区同推協だより

第16号

2009年(平成21年)2月1日

編集・発行

湖山地区同和教育推進協議会
〒680-0941 鳥取市湖山町北6丁目334
TEL (0857) 28-1017
FAX (0857) 28-1119

人権尊重のまちづくりをめざして

今年度は湖山地区が湖東ブロック研修会の主催をいたしました



今年度の取り組みを振り返って

湖山地区同和教育推進協議会会長 飯田寛司

今年度の湖山地区同推協の活動を集約する段階に入りましたが、20年度は湖東ブロックの担当推進協として、研究会、会長研修会、推進員研修会等を実施しました。また、昨年度まで三年計画で実施してきた小地域懇談会(町区別研修)を今年度は、二十三町区の半数で実施できました。該当の町区長さんのご協力に感謝しています。公民館の人権啓発推進事業ともあいまって、人権講演会を二回、館外現地研修(豊岡市)一回を実施、さらに地区内教育関係協議会の開催、市や県の人権尊重社会を実現する集会への参加、年四回の推進研修会等、かなりめまぐるしい日程を消化してきました。推進員のみならずには積極的、全面的に協力していただいたことに感謝します。人権問題に対する関心は高まってきましたが、やはりまだまだ腰が引ける要素も残っているように思います。人権に関する課題は同和問題をはじめとして山積しており、「人権尊重のまちづくり」をテーマに、来年度以降の地域の「まちづくり協議会」との連携、組織名の変更などに積極的に取り組まなければならないと思っております。地域の皆様方の一層のご理解をお願いいたします。

2008年度(平成20年度)湖山地区同和教育推進協議会事業実施報告

- ◎地区同和教育推進協議会総会・研修会 5/8
◎協力員説明会 5/28
◎小地域懇談会の実施
実施済み 7/5 駅前一区、二区
9/7 茶屋一区
9/14 南園地
10/2 島川
10/5 農高南、さかえ
11/8 茶屋四区、青葉台
12/7 南二丁目
1/11 南二丁目南
ビデオ「紡ぎだす未来」視聴後、グループ意見交換
◎各種研修会への参加と主催
①湖東ブロック研究会 9/20 (湖山地区主催)
「人権尊重のまちづくりをめざして」
鳥取市人権推進課人権教育推進員 林 克文氏
②湖東ブロック推進員研修会 1/16
③推進員研修会(年4回) (1)6/28 (2)8/22,23 (3)9/26,27 (4)10/25
④「人権尊重社会を実現する集会」 鳥取市7/22 鳥取県8/7,8
◎公民館人権啓発推進事業(年3回)
7/20 野外学習(豊岡/コウノトリの里を訪ねて)
7/23 人権学習会
「心の教育を通して人権問題を考える」
放送大学 竹内 善一氏
11/20 人権学習会
「みんなの幸せをめざして」
～子どもの人権から考える
鳥取県教育委員会人権教育課 田口 謙二氏
◎各団体別研修会
湖山小・湖東中人権教育研究会
教育関係連絡協議会(地区同推協、保、幼、小、中) 12/12
◎啓発事業
地区同推協だよりの発行(全戸配布) 2/20
公民館だよりの活用

湖山小学校
学校の取り組みとしては、人権教育年間指導計画の見直しとして、平成二十年年度分を作成した。(昨年度のものを見直し)
内容としては実践しながら偏りはないか、子どもに付けた資質・能力、人権教育の四つの視点(生命を大切にす・自分を大切にす・共に生きる・社会をつくる)などを考慮して加筆・修正した。
二、人権教育参観を年間指導計画に従って六月二十八日に実施した。
三、人権問題についての理解と認識を深める研修に参加し、全職員へ報告した。(鳥取市研究会、鳥取県研究会、全人同教、他)
四、保護者啓発については、夏休みの学年別保護者会と、教育協議会人権教育推進部の研修会を統合して実施した。
五、「人権の花」運動への取り組みとして、「花の贈呈式(栽培委員、福祉委員会の児童参加)」を行い、児童集会の場で説明した。また、地区敬老会に花の苗にメッセージを添えてお年寄りにプレゼントした。卒業式にも花を飾るようになっている。
六、湖東中学校区の連携を図るため同校区の小中学校の公開学習に参加し、

湖山地区教育関係連絡協議会

十二月十二日、湖山地区公民館において教育関係連絡協議会(地区同推協、保、幼、小、中)が開催され、各組織の年間行事報告、課題、意見交換が活発に行われた。報告事項は次のとおり。
◎湖山保育園
「仲間とともに生きいきと遊ぶ子」「しなやかな心とからだをもった子」をテーマに職員研修、家庭との連携、地域社会との連携を図った。
保育推進部の活動としては、年に二回の推進部研修会を開催しており、保育参観とともに、講演会、クラス座談会などを企画実施した。
また、人権尊重社会を実現する鳥取市民集会や鳥取市同和教育協議会・社会教育部全体研修会、市保連同和保育研修会にも参加した。
また、年二回の保育推進部便り「こだま」を発行した。
◎ひかり幼稚園
幼稚園の人権保育のテーマ「つながりを大切にしよう」を受けて、互いに認め合い、補い合うことで繋がりがあえるのではと考え、人権保育推進委員の今年度の活動テーマを「広げようひかりの輪くみんな違ってみんないい」とした。
主な活動として、異年齢交流の充実を図るため、毎週木曜日を異年齢交流の日と定め、季節に応じてテーマを決めて交流を計画実施した。
保護者向けには、子育てトーク「ひかりクラブ」を月に一回、心理相談員の先生を迎え、子育てについて楽しく語り合い、園と家庭との連携を深めた。
当園の人権教育推進委員会活動としては、年二回の人権教育推進委員会を開催し、通信「あかり」を年三回発行し、人権啓発を行った。
また、幼稚園主催の子育てアンケートに参加し、全保護者向けのアンケート



(金段) 湖東中学校
(金段) 湖東中学校
(金段) 湖東中学校
(金段) 湖東中学校
(金段) 湖東中学校
(金段) 湖東中学校

情報交換した。
◎湖東中学校
学校の取り組みとしては、「豊かな人権感覚・仲間づくり」をモットーに、前期は「人間関係づくり・コミュニケーションスキル」と題して一年生は小学校の仲間から中学校の仲間づくりを進めた。二年生は仲良し集団からクラスや部活の仲間づくりを進めた。三年生は縦割りをまとめる立場として異年齢集団、公・目上の人との人間関係づくりを学習した。
後期は「社会に生きる・人権の課題」と題して、一年生は「共に生きる」を学習する。二年生は社会との関わりを学習する。三年生は社会人としての人権の課題に取り組む。
PTAの人権教育研修会は
第一回：五月二十三日に人権教育公開学習と講演会(特別支援教育の理解)を開催した。
第二回：七月十七日に「生徒の人間関係、いじめ問題、家庭の役割」をテーマに講演会を開催した。保護者の感想として、「もつといじめ問題や生徒の人間関係について知りたい」という意見がたくさんあった。
第三回：十二月五日に「人権を尊重した学級集団づくり、家庭教育のあり方、子どもとの関わり方」をテーマに講演会を開催した。

編集後記

梅の花も少しずつ膨らみ、春の日も近くなりました。なのに、人権侵害に関するニュースを聞かない日はありません。世の中が少しでも暮らやすく、差別をなくするためには……。
今回も皆様のご協力で同推協だよりが、お届けできますことを感謝しております。



～分散会にて～

○介護家庭の
りを大切にす
わり、つな
子どもとの関
・若い人や
子ども会の交
流
・老人会と

○世代間の人的交流を密にして世代間
格差の解消を図る。
発揮して解決に努める。
生経験を活かした知恵で老人パワーを
には、高齢者の持つ豊かな知識や、人
○もし、地区に何か問題が生じた場合
以下、生の意見を挙げますと

散会
参加者の中には、高齢な方も多数お
られましたが、平素、地区活動にも積極
的に参加しておられる方々で非常に前
向きな意見を聞くことができました。
以下、生の意見を挙げますと

湖東ブロック同和教育研究会が九
月二十日(土)当地区主催で湖山地区
公民館において開催されました。
そして、今回の基調講演には鳥取市
人権推進課人権教育推進員の林 克文
先生に「人権尊重のまちづくりをめざ
して」というテーマで講演していただ
きました。

講演後、五つのグループに分かれた分
散会で各司会者を中心に自由な意見交
換が行われました。

2008年度 湖東ブロック同和教育 研究会報告

推進員 影 井 幸 実

小地域懇談会

推進員 尾 崎 恵



10/5 さかえ・農高南



11/8 茶屋4区・青葉台

今年度のビデオ学習は、『紡ぎだす
未来』と共に生きることでした。
同問題とえば、部落差別が中心
でしたが、最近はそのを含めた人権の
問題と考えてきています。
このたびのビデオは、日常の家族の
朝の挨拶から始まりました。ところが、
父親は祖父から部落出身だったと聞
かされ、家族に話すべきか、悩んでい
ます。そして、息子である主人公は、
会社の研修会で、在日であることを隠
して生活している人の胸中を聞きます。
外国人の雇用については、やはり文化
や生活習慣の違いから面倒なことがい
っぱい、賃貸で高齢者の一人暮らしは敬
遠されるなど――周りには悩みを抱え
ている人がたくさんいます。主人公は、
そういう自らが体験した偏見や差別と
向き合い、共に生きる社会を紡ぎだそ
うと一歩を踏み出すドラマです。
さて、視聴された参加者はどのよう
に受け止められたでしょうか。
そっけない「おはよう」の声にやは

り下を向いたまま「おはよう」の返事、
挨拶ぐらいいちやんと目を見てすればいい。
そう思われた方もいらつしやるで
しょう。年配の方からは差別問題より
マナーを学んだほうがよいという意見
もありました。部落問題については
「寝た子を起すな」とも言われます。
あまりにも同問題の言い過ぎ、自治
体がわざと目立つようになっているの
指摘もありました。その一方で、一
部の人々が語る同問題が誤って広がり、
根強く残ってしまう場合もあります。
子どもたちは、学校等で人権問題を
学びます。そして、地域の住民の何気
ない会話の中からも人権感覚を養って
いくのです。時には、子どもたちから
質問があるかも知れません。「一緒に
考えよう」と言えますか。
小地域懇談会は、町区によって、参
加人数にばらつきがあります。一年に
一度ぐらい「人権」の集まりに出かけ
てみませんか。そして、自分の意見を
率直に述べてみて下さい。人の話も
じっくり聞いてみましょう。
「人権問題」なんて必要ない
と思っていた人は考えが変わ
るかも知れません。「人権問
題」に関心のある人には新た
な発見があるでしょう。平成
二十一年度はさらに参加者が
増え、一緒に学べることを楽
しみにしています。

支援も地区で支援する。
○家庭の民主化も人権尊重から 等
まちづくりには、なによりも人のつ
ながりが大切であること。その中で高
齢者問題、子どもの虐待問題、女性差
別問題など諸々の人権課題を身近な問
題として取り組んで行くことが大切で
あるとうかがえました。
この研究会に参加して(感想)
高齢者にとっては「人権」という言
葉はなじみがたいようでありますが、
今回の基調講演の中で高齢者の人権に
対する制度、施策がこれほどまでに積
み上げられていることに改めて認識を
深めました。しかし、一方高齢者を抱
える介護家庭では、配偶者が親の老後
夫の老後、そして自分の老後へと「女
性は三度老いを過ぐす」と講師の言葉
に思わず、他人事ではなく、身近な事
として強く心に残りました。
今回は、日常のなかの一般の人権課
題として「高齢者の人権」が主題にな
りましたが、グループ
討議ではさらに子
どもの人権、女性の人
権が議題に上がりま
した。しかし、今回
議題に上らなかった、
古くからある部落差
別の問題は過去の問
題ではなく、依然と
して根深く残ってお
り、そっとしておけ
ない現実があります。
この問題も同じ人権
課題として忘れては
ならないと思います。

**「人が大切に
される世の中」に**
山根 千恵美
小地域
懇談会にて
参加して

11月8日(土)、茶屋四区公民館において
茶屋四区・青葉台地区合同小地域懇談会が
開催されました。
最初に「紡ぎ出す未来」という教材ビデオ
を視聴し、その後グループに分かれて意
見交換をしました。
人権研修は、何度か参加したことがあり
ますが、今まで参加した研修とは雰囲気も
違い、地域のみなさんの率直な意見を聞く
ことができた有意義な会だったと思います。
人権問題は、自分には関係のないこと
と思いがちです。しかし、自分とどう関係が
あるのかというところまで考えてみるこ
とも大事です。私たちが普段生活している中
で、身近にある人権問題から取り組み、一
人でも多くの人々が人権に対して関心を持つ
ようになれば、明るい未来は開けると思
います。
「人が大切にされている世の中」になれ
たらと改めて感じる事ができたと思います。

オタマジヤクシが
カエルになるまで
は水を残して冬も
そのままにする
といった努力が今
日の増殖に成功し
ようです。
いずれにしても、
生命の尊厳、人間
のエゴから生じた
環境破壊、自然破
壊再生の困難さを
つくづく感じた研
修でした。

人権啓発活動事業(公民館)



～中貝市長とコウノトリの巣を囲んで～

今回、機会を得て人権啓発活動
推進事業の一つである、「コウノ
トリの郷をたずねて」豊岡の地を
訪れました。
織 田 敏 雄

コウノトリの郷をたずねて

中貝豊岡市長自らがプロジェクト
を使い、兵庫県豊岡市の今日までの取
組み、経過等の講義をいただき感激し
ました。
コウノトリは国の特別天然記念物で
あり、兵庫県の県鳥でもあります。日
本最後の生息地となった豊岡において、
昭和四十年から粘り強く人工飼育に取
組み、平成十七年には初の放鳥に成功
しました。
そこに至るまでには、行政、地域、
農業従事者等が一体となり、「コウノ
トリを守る」「保護する」「増殖する」
といった思いが一つとなり苦難を乗り
越え百羽からの増殖に成功しました。
また、コウノトリが生きてく上で必
要な場所は湿地帯や田んぼ、野山です
が、とくに田んぼでは「コウノトリを
育む農法」で、農薬は使わず、栽培期
間中の化学肥料は使用していません。
また、田植えの一ヶ月前から水を張り、

「留守学生が部屋を探しているのです
が、貸していただけませんか。」
「.....」
年の瀬の肌寒い日、初対面の鳥大生
と私の会話です。
推進員として市民集會に参加し、人
権啓発分科会でのこれからの人権啓発を
考えるためにと題して、実践をとおし
た講演を聞きました。
「差別はいけない」ということは、
本当に皆わかっているのです。そして
差別とは、出身地、高齢者、障害者、
仕事、性別等々、根拠も何もないのに
偏見の目で見てしまう。日常的に身近
に見受けられることです。
同問題では、「寝た子を起すな」
とか、「そっとしておけば、時代と共
に無くなる」という意見も根強く残っ
ています。それは皆、他人事だと思っ
ているからではないでしょうか。もし、

同和教育小地域懇談会開催 状況及び年次計画

湖山地区同和教育推進協議会

町 区 名	H17	H18	H19	H20
井 津 水			○	
島 川	○			○
新 川		○		
浜				
二 本 松			○	
茶 屋 一 区	○			○
茶 屋 二 区			○	
茶 屋 三 区			○	
茶 屋 四 区	○			○
松 ケ 丘		○		
青 葉 台	○			○
大 石 橋		○		
駅 前 一 区		○		○
駅 前 二 区		○		○
駅 前 三 区			○	
南 二 丁 目	○			○
コ ク ヨ 前		○		
南 二 丁 目 南		○		○
南 団 地		○		○
さ か え		○		○
農 高 南		○		○
農 高 南			○	
農 高 南				○

自分がその立場だったら.....人権
問題を本当に自分のこととして考える
にはどうしたらいいのか.....難し
い問題だと思います。
湖山地区でも、「住みよい町・湖山
町」を目指して研修を重ねているこ
ろですが、やはり受身的では他人事に
終わってしまいます。
機会あるごとに、呼びかけに応じて
参加し、話し合いの中から自らを考え
る場にする。そして、人との出会いの
重要性や課題が見えてきたらよいと思
います。(でも、決して強制的にはな
らないように)
人権問題を他人事としないで、自分
だったら置き換えてみる。そういう
事がこれからの研修につながればと思
います。研修は自分のために、決して
他人事ではないのです。結論はなか
かかると思います。そして、時間も
す。次につなげていけたらいいと思
います。
いろいろ考えて即答できなかった私
は、留守学生がこの鳥取に良い印象を持
て生活できることを願いながら、物置
にしていた部屋を片づけ、古い部屋が
少しでも住みやすくなるように手入れ
をしているところです。